

スカウト NO.167 みちびき



日本ボーイスカウト福岡県連盟 北九州西地区委員会

〒804-0042 北九州市戸畑区夜宮1-2-1
TEL 093-881-8818
FAX 093-881-8824

発行者 長尾 時男
発行日 平成25年11月30日
印刷所 とりはた玄海園就労センター
TEL 093-871-0841

ホームページ
<http://www13.ocn.ne.jp/~kitanisi/>

第58回 班長訓練会開催される

【第58回班長訓練会を終えて】

帆柱第1隊 隊長 角田 真昌

第58回班長訓練会という、この伝統ある訓練会に隊長として参加できたことをとても感謝しております。また参加スカウト、指導者の皆様、関係者の皆様へは、ご協力して頂き心よりありがとうございました。事前訓練が9月29日、本訓練は10月12日～14日が無事に終了したことは、自分自身の励みにもなり、よい経験をさせて頂きました。今回の班訓内容はセッション方式をとらせて頂き、参加スカウト12名、全課程修了者6名、一部修了者6名と少ない参加者の中、戸惑いながら実施しておりましたが、スカウト達の笑顔と指導者とのコミュニケーションに触れあえたことは、とても大きな成果だったと思います。私たちが目指すところは、「良き社会人を育てる」というところに意義があり、基本となるボーイスカウト隊の班長という役務、責務はどういうものか、どのようにスカウトたちに伝えるか、またスカウト達がどのように感じてくれたのか、改めて自分自身も考えさせて頂きました。スカウト達には「この訓練を通して、班長として班をまとめ引っ張って行く、スカウト達を引っ張って行くという事、決して無駄になっていないのだよ、社会に出て目標を見失わず凜とした大人になってほしい。」と願い、伝えてきました。現代のスカウト達はどう思ったのか、聞いてみました。スカウト達は皆笑顔で「楽しかった」や「理想の班長が少しわかった」「班員をどうまとめるのかなんとかわかった」などさまざまな感想でしたが、原隊に戻っても目標、目的を見失わず自分たちが自主的に目標を立て、良き社会人になってほしいと願いながら、この訓練会を終わりました。

第58回班長訓練会 事前課題4準備

北九州第4団 ボーイ隊 小深田 健司

僕は班長を1年間やってきたけれど、なかなか班長として自信がもてません。班長というのは自分自身の役割を果たし、班員のためにできるかぎりのことをサポートし、チームワークを築いていくものだと思います。しかし、僕はまだ班員がふざけていても怒ることがありません。なので、チームワークが築けていないと思います。そこで、理想の班長に近づくためには班員がふざけないように自分が班員にお手本を見せて、けじめをつけさせるようにしています。また、班というのは互いを助け合えるものだと思います。居心地の良い場所になるように努力をしています。



第58回班長訓練会 事前訓練課題4準備

北九州第1団 ボーイ隊 清水 海

僕にとっての理想の班長は班員に親しまれて、何でもできる人です。班とはどのようなものなのかについては、僕は班とは協力できて、効率の良い作業ができることです。その理想に近づくために心がけていることは班員全員が何をするのかかわからないようにならないようにいろいろと教えて、みんながちゃんとできて、年下のスカウトたちが班長とかになっても困らないようにしたいです。

第58回班長訓練会

事前訓練課題4準備

北九州第37団 ボーイ隊 三好 貴久

僕にとっての理想の班長はたくさんの技能を持ち、班員が困っている時、声をかけてあげられて、多くの人から信頼される班長だと思います。たくさんの技能を持っていれば、班員に教えて、班員の技能の向上になると思います。班員が困っている時、声をかけてあげられたら、その班員も他の人にやさしくなると思います。班員には楽しく、優しくふれあい、時には厳しく、班長が多くの人に信頼される班長だと思います。そんな班長になるためにはまず自分の技術を向上させなくてはなりませんので、スカウト活動の中でいろいろなことを学びました。それに声をかけてあげるためには、班員と話すことが必要だと思います。また、他にも班員に気を配るなどをしようと思いますがなかなかできません。だからこそ、これからももっともっと学んで班員に信頼される班長になりたいです。

第58回班長訓練会 事前訓練課題4準備

北九州第14団 ボーイ隊 塩川 悠歌

自分が思う理想の班はとてもチームワークが良く、メリハリやけじめがちゃんとできる班だと思います。そのためにはお互いに何でも話せるし、協力できるような班を作るように努力したら良いと思います。メリハリやけじめは班長が厳しくちゃんと班員をまとめるような努力をしたら、理想の班ができると思います。



理想の班長は班員に信頼され、班員と気軽に話せるし、叱る時は叱る班長だと思います。

そのためには班員の話をよく聞いたり、話したり、もし、班員がダラダラしていたりしたら、厳しく叱るような努力だと思います。自分が心掛けていることは班員に自分が言ったことを最後までやらせて、終わったらなるべく声をかけるようにしています。

祝 かつこう章



(左) 北九州第45団 松田麻左武団委員長
 (中央) 遠賀第3団 坂本國寛団委員長
 (右) 遠賀第3団 坂本國寛氏 奥様



皆さんに感謝！「かつこう章」受章

北九州第45団 松田 麻左武

まず、この度かつこう章を受章できましたことは未熟な私に対する地区皆様から多大なご支援ご協力をいただいたからと深く感謝申し上げます。また祝賀会にはお忙しい中多くの方にご出席していただき大変ありがとうございます。

私の指導者活動は就職した際に先輩からちょっと手伝ってくれと言われ、スカウト経験はあまりありませんでしたが、地域活動が少しくらいできればと気軽な気持ちで北九州第45団のボーイ副長を引き受けたのが始まりです。それ以来、ボーイ隊長、シニア隊長、団委員長といつの間にか36年になりました。これも45団指導者、保護者の方々のご理解とご協力があったからできたと感謝いたします。あわせて家族にもこの場を借りて感謝します。

活動の思い出としては4班30人を超えるスカウトとの活動、道を間違えるのと思った積雪の福智山登山、四季ごとのキャンプ特に2月の寒さのキャンプ、指導者と保護者が汗を出した技能競技大会の準備、名藪を切り開いてサイト造った久留米の県大会、満天の星空での久住の九州大会、スカウト・保護者と一緒に行った遠賀川下りの筏、50キロハイクのスカウトの頑張りなどあります。ジャンボリー経験や県連活動にこれといった功績の無い私が受賞できたのも、スカウトの活発さや笑顔が源になって活動を続けることができたためと思います。

来年45団は発団45年を迎えますが、スカウト数は最盛期の1/3以下の20人となっています。何とか少しずつスカウトの増員を図っていきたいと思います。この鍵は保護者の方々が自信を持って勧誘できるよう楽しいプログラムの提供と保護者の期待に応える活動の実施、新しい指導者の育成による活性化と考えますので、重点的に取り組んでいきたいです。また、地区副委員長として長尾地区委員長を支え、円滑な運営に努めて地区の発展に寄与していきますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

平成25年10月10日

大谷会館に於いて、遠賀第3団団委員長坂本國寛様と北九州第45団団委員長松田麻左武様のかつこう章受章記念祝賀会が模様されました。西地区の皆様からはこれまでのご苦労をねぎらわれ、たくさんのお祝いを頂きました。

「かつこう章」は日本におけるスカウト運動に対し、全国的にあるいは地方的に多年にわたり、功労のあった方へ日本連盟から贈らる名誉な章です。

誠にありがとうございます。



デンリーダー・デンコーチ交流会報告

平成25年10月20日
夜宮青少年センター

西地区カブ部門ラウンドテーブル デンリーダー・デンコーチ交流会について



カブ部門コミッショナー 原田 大作

今回より、初めてCS部門RTにてDL・DC交流会を開催する運びとなりました。今回やってみて思ったことは、やはりRTで軽くまわすことも必要だと思いました。私の始まりもDLでした。右も左もわからないころに地区のDL・DC交流会に参加させていただき他団の指導者にとっても親切にご指導いただいた思い出が印象深く残っています。解らないことはたくさんあると思いますが、それを確認できる環境も必要かと思えます。その一環を部門のRTでカバーできるようにという思いもあり各隊隊長のご意見を結集して今回の交流会になりました。

私の信念は今までずっと「基本に忠実」で心がけてきています。詳細なところまできっちりと決まっていなかったところもありますが、外せないところもあると思います。まずは、地区で合わせようというところで行なっています。今後も、RTでフォローしていきたいと思いますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



DL・DC 交流会

北九州第1団 デンリーダー 櫻井 千春

10月19日DL・DC交流会に参加しました。去年初めてDLとなり交流会には参加できず、今年2年目で参加することができました。DLの役割とはなんなのかをわかりやすく教えて頂きました。交流会の中で、しいのみとどんぐりの違いを教えてくださいました。例えば、しいのみはどんぐりみたいな帽子をかぶっているのではなく、しいのみ全体が覆いかぶさっているということを実物を見せて説明していただきました。こういうことを、ハイキングなどを通してスカウトに教えていくといいと教わりました。

ロープ結びでは、本結びの練習をしているときにカブ弁当をナフキンに包んで本結びで包むことができることなどを教わりました。

この交流会参加で、たくさんの気づきを頂きました。この交流会で学んだ内容が、今後の活動に生かせるように頑張っていこうと思いました。北九州西地区の各団の指導者の方々がDL・DC交流会を開催していただきありがとうございました。

デンリーダー・デンコーチ交流会に参加して

北九州第1団 ボーイ隊 松井 拓海

夜宮青少年センターであったデンリーダー・デンコーチ集會に行きました。集會ではロープを使ったゲームの仕方や組集會のセレモニーの方法を知りました。それにデンコーチが具体的に何のためにあるかを知りました。デンリーダーとデンコーチの大切さを改めて知ることができました。そのあとグループごとに分かれデンコーチのことやデンリーダーについて話し合いました。

ぼくはカブスカウトをやっていないままボーイスカウトになりました。だから、知らないことが多いですが今回学んだことを次の集會に生かしていきたいと思いました。デンコーチとしてこれからがんばります。

DC、DL交流会を終えて

北九州第1団 デンリーダー 鷹取 剛志

10月20日、戸畑区夜宮青少年センターにてDC、DL交流会に参加させていただきました。

私自身カブ隊でのDLを引き受けたものの子供たちの中で、ましてや1つの組を率いる大人として良いDL、指導者になれるのか、と疑問や心配を抱えながらのスタートでした。

交流会前の会議でDL同士の協力、分担の声掛けが自然にあり、その当たり前ややり取りのお陰で交流会当日は大分緊張をほぐした状態で参加することができました。

交流会では、DC、DLの役割説明、実技など雑談を交えながら楽しく学べ、沢山の事に気づけました。

指導者もスカウト達と同じくちかいを守り、活動を楽しむことで、スカウト達を導き協力できることがあるということを教わりました。スカウト活動を介し、皆で分かち合い、楽しんで共に成長していきたいと思えた交流会でした。



第3回 ボーイスカウト講習会 (北九州西地区)

平成25年9月29日 北九州市立玄海青年の家にて

【主任講師】木村孝博氏

【講師】田添・塩川・桂田・永井

【受講者】23名

【スタッフ奉仕者】18名



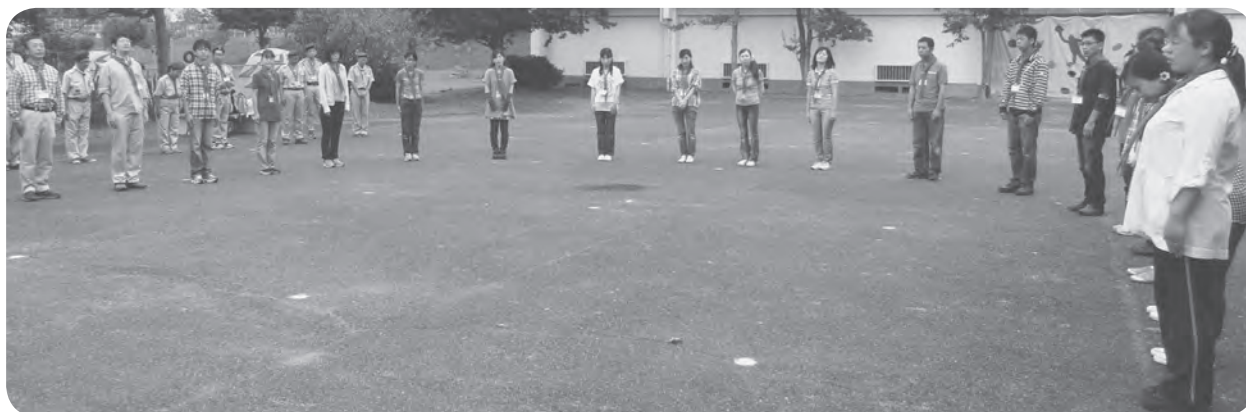
ボーイスカウト講習会に参加して

北九州第14団 保護者 末吉 朗

講習会に参加し、自らが体験することで、子どもたちの活動を理解し、支える大人としてすべきことを考えさせられました。

スカウト活動は様々な経験・学習を通し、協調性や自主性、忍耐力が身に付くと思います。得意なものを極め、不得意なものは挑戦し続けることで自信がつき成長できると期待しています。この活動を通して、日々成長し続ける子どもたちの可能性を最大限に引き出せるように見守り、助言できるよう、親として社会人として協力して行きたいと思います。

スカウト活動に参加する我が子の成長がとても楽しみです。



ボーイスカウト講習会を受講して

北九州第4団 ボーイ隊副長 田添 英嗣

私の所属している団には、ローバー隊がないことから、大学に入ってもベンチャー登録をしていました。しかし、今年の9月21日で20才になり、この誕生日でベンチャー隊を卒業することになりました。これからどのような形でボーイスカウトに関わっていこうかと考えていたある日、「ボーイスカウト講習会が開催されるから受講してみてもどうか。」とのアドバイスを受けた。地区内の他団の友人も昨年、受講したことを思い出し、私も受講してみようと思えました。

当日受講してみると今まで自分が受けてきた多くの人からの色々な支援に気付くことができました。この講習会をきっかけに今まで受けた支援を後輩スカウトのために行いたいと思います。

講習会に参加して

北九州第51団 デンリーダー 三好 真澄

子どもがカブスカウトになって1年半になります。その間、様々な活動に保護者として参加し、貴重な体験をさせていただきました。今年はデンリーダーを引き受けることになり、今までのように「ちょっとお手伝い」という立場ではいなくなりました。そんな時に今回の研修に参加でき、少し不安が解消された様に思います。我が子がカブ隊に所属しているため、カブに関しては知っていることも多いのですが、他の隊とのつながり、一貫した教育や精神を改めて知ることができ、大変ためになりました。

この一年間、子ども達と一緒に自分も成長していきたいと感じています。



ボーイスカウト講習会を終えて

北九州第37団 団委員 飯笹 貴子

息子が北九州第37団に入団して、早いもので14年が経ちました。残念ながら、同期のスカウトは一人も残っていません。一番続かないと言われた息子が今も残っています。

今回の講習会に参加して感じたことは、保護者がロバート・ベーデンパウエルのお話を忠実に学ぶことができ、改めて偉大な方の教えの元で息子は様々なことを学ばせてもらったことへの感謝と今後も積極的にこの教えをたくさん子ども達に伝える人間になって欲しいと思いました。

少しでも、多くの保護者の方がこの講習会に参加して欲しいと感じました。ありがとうございました。



ボーイスカウト講習会

北九州第1団 団委員 日野 和絵

ボーイスカウトの教育の目的・方針等お話頂き、改めてボーイスカウトの素晴らしさを感じ、色々な体験・段階を経て子ども達が集団の中での自己を確立させていくのだということが解りました。

ハイキングの活動体験では、愉快的な活動と掲げてあり、“楽しい”だけでなく“愉快的”とするところに、指導者がプログラムを考える際に意図しているのだとお聞きして、指導者のスカウトに対する思いの深さを感じると共に、このような社会教育の環境の中で子ども達が学ばせて頂いていることに、とても感謝致しました。



そして、子ども達がより良い環境の中で学ぶには、団委員や保護者等の協力も不可欠なのだとすることで、私も団委員として今後も協力させて頂きたいと思いました。

富士スカウト誕生

富士スカウト

富士スカウト認証番号 2826

北九州第37団 ベンチャー隊 中村 誠



私は、ピーバーからボーイスカウト活動を始めました。まだ小学生になる前でしたが、その頃から富士章という章があることを知り、自分も富士スカウトになりたいと思うようになりました。進級するにつれ、ますます富士スカウトへの憧れは強くなっていきました。そして、富士章に挑戦し、達成できたことを本当にうれしく思います。

富士スカウトになるにあたって、私は「ちかい」と「おきて」について今まで以上に考えるようになりながら、「おきて」の一つである「スカウトは感謝の心をもつ」について深く考えるようになりしました。なぜなら、ボーイスカウト活動を始めてくれて、今まで応援してくれた家族や今までの活動を指導して下さった各隊の指導者、技能考査員の方などの多くの人々の力を借りることで富士スカウトになることができたからです。これからも、私はローバースカウトとなり、ボーイスカウト活動を続けていきます。活動を通して、多く

の人々から様々なアドバイスを受けた時はこれまで以上に感謝の心を持ち、活動していきます。また、これからは他のスカウトの模範となり、感謝されるようなスカウトになりたいと思っています

私が行ったプロジェクトの中で最も印象に残っているものは、三つ目のプロジェクトで東北の被災地に行って奉仕活動をしたことです。以前は、阪神淡路大震災の際にボーイスカウトが活躍をしたという話を聞いて、自分もいつかは社会のために何か少しでも役に立つことをしたいと思いながら活動してきました。そして二十二年に東日本大震災が起きました。被災地で実際に活動してみて、復興への大変さを痛感しました。この活動で少しでも復興へと貢献することができたと思っています。このプロジェクトを通して感じたことを忘れず、これからの活動をしていきます。そして、東北に行かせてくれた両親や指導していただいた隊長への感謝の気持ちを忘れず、富士スカウトとしての自覚を持ち、活動していきます。

菊スカウト誕生

菊章を取得するにあたって

認証番号 2517

北九州第1団 ボーイ隊 大和 寛子



菊章を取得するにあたって、私は、ボーイスカウトができるということに改めて多くの人に感謝しています。

私が菊スカウトになれるだけの技能を教えてくれて、適切なアドバイスをしてくれる指導者の皆様、いつも励まし合い助け合えるスカウトの仲間、私たちが安全に活動ができる環境を整えてくださっている団の方々、そして、私にボーイスカウトをさせてくれて、ずっと背中を押してくれている両親に本当に感謝しています。

私は、班長になって最初のキャンプでとても辛い思いをしました。自分の思うように進められず、指示の出し方がわからず班員を思い通りに動かせないし、正直帰りたいたいという思いでした。しかし、私がいなければ、だれがするのかと思い最後までやりぬいて、閉会式のときはやっと終わったという気持ちと1年間私はこの班の班長としてやっていけるのかという不安だけでした。しかし、今考え直すとその時には思わなかったけど、無事にキャンプができたのは、他の班員が頑張ってくれたおかげと他の班の友達、指導者の方々がアドバイスなどをしてきて支えてくれたからです。家に帰ってからは親が話を聞いてくれて、次に頑張ろうという気持ちにさせてくれました。自分は本当にいろんな人に助けられているのだと改めて感じます。そのおかげで私はめげずに班員と一緒にがんばって、今はこの班で本当によかったと思えるようになりました。

そして今、私が菊章を取得するにあたって自分が目指すのは、今まで支えてくれた人たちを今度は自分が支える側になるということです。まだまだ未熟でできないこともあると思いますが、今までみんながしてくれたように私がみんなを支えて、後輩の中で自分も菊スカウトになりたいと思う人ができたらいいなと思います。また、人に対する感謝の気持ちを忘れず、菊スカウトとしての自覚と誇りをもってこれからの人生に活かしていきたいです。

スーパーカブ誕生

あこがれのスーパーカブ

北九州第1団 カブ隊 山田 由紀子



私がスーパーカブを目指そうと思ったきっかけは、うさぎスカウトの時に今のボーイ隊の先輩の姿がとてまかっよく見えたからです。自分もあんな風になりたいと強く思いがんばろうと決心しました。

たくさんの課題があり、料理やサイクリング等の楽しい物もあれば気象学者の様に大変なものもありました。最後の一つが手旗でした。

手旗には送信・受信があって思った通り難しく、練習を繰り返して少しずつ覚えていきました。家族に見てもらったりもしました。いよいよ手旗を見せる日、集会が始まる前から緊張していたらみんな応援してくれました。練習の成果を出してデンコーチに送受信が出来ました。その瞬間夢がかなってついにスーパーカブを達成しました。

今まで学んできた事を普通の生活やボーイ隊の活動でも役立てていきたいと思います。

菊スカウト誕生

スカウト活動を振り返って思う事

認証番号 2519

北九州第1団 ボーイ隊 原田 和



姉と兄がボーイスカウトをしていたことから、私はその後ろ姿を見てビーバー隊から入隊しました。ビーバー隊ではみんなと仲良く遊んだり、野山を散策したりと楽しかった思い出がありません。いつしかボーイスカウトに行く事が一番の楽しみになりました。そこには、保育園も小学校も違う友達がいるという事が新鮮に感じました。

カブ隊になり、活動もレベルアップし初めての体験をすることも多くなりました。その一つが舎営です。今思えばボーイのキャンプをする為の事前訓練だったのかと思いますが、カブ隊一年目の時は、みんなでお泊りするのが楽しみで仕方ありませんでした。カブ隊三年目で組長になった時、組のみんなをどうまとめて行けば良いのかまた、どのように引っ張って行けば良いのかと悩んだ時もありました。しかし、次長やデンコーチ、デンリー

ダーに色々助けられ本当に心強く感じました。

ボーイ隊になると、ちかいとおきてなしではボーイスカウトではないという事を感じました。そして最初の試練は極寒キャンプでした。その中で班長の厳しさや頼もしさに触れ、私もこんな班長になりたいと思いました。

二年目の班長はとてもやさしく細やかな心遣いが出来、とても尊敬出来る人でした。その班長が菊章を取った時、初めて私も菊章を取りたいと思いました。

三年目私は次長になりました。その時の班長は、部活や塾でなかなか出席出来ませんでしたが班集會をたくさん開いてくれたので、班の団結力は強く、班長がいてくれただけで安心出来た事を覚えています。

そして最後の年、自分が班長として活動してきた中で、一番感じた事は、次長をはじめとする班のみんなに支えられて

班長としての自分が存在するという事に気付いた事です。

私は今までのボーイスカウト活動の中で、多くの方々に支えられてここまでこられたのだと痛切に感じています。ベンチャースカウトになってからは、私がちかいとおきての大切さを伝えていけるように、また少しでも後輩の支えとなれるように努力していきたいと思います。

最後になりましたが、私を支えてくださった団委員長、指導者、育成会のみなさん、大勢の仲間、そして家族に感謝したいと思います。

菊章を取得するにあたって

認証番号 2518

北九州第1団 ボーイ隊 三鶴 芽以



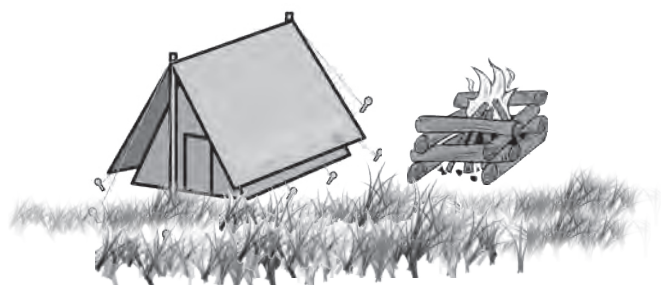
私がスカウト活動を始めたきっかけは、姉や兄がカブ隊で野外活動をしているのを見て、楽しそうだなあと、感じたことでした。

カブ隊では学校の続きのような感覚でした。隊長やデンリーダーは先生で、ハイキングなどの隊集会は授業のようでした。休み時間は走り回ったりして楽しくしていました。しかし、中でもチャレンジ章をたくさん取りたくて、家に帰ってから、姉に教えてもらい進めました。次長になった時は組長を助け、みんなをまとめ、更に新入団者があった時は色々なことを教え、楽しく過ごすことができました。カブ隊の終わりの頃、ボーイ隊の見学に行きました。先輩たちが自分のことはしっかりと自分でできていて、例えばロープ結びなどは今まで見たことがないことをされていました。私にもこんな風にできるのかな、とわくわくした思いでした。

ボーイ隊での1年目はきついことがたくさんありましたが菊章をとろうと思うことがありました。それは班長の胸に輝く紫のバッジがかっこよく、憧れたからです。その班長は何でもできて、輝いていて班長がいれば無敵に感じられました。しかし、私は部活との両立が厳しく、難しく、簡単に進歩は進められませんでした。部活の休みの時は必ず出席をしました。その度に先輩や指導者の方々が対応してくださり、マスターバッジやターゲットバッジが取得でき、1級に成れました。しかし、1級を取るのに時間がかかってしまい菊章は無理だなと思いました。けれど、やっぱり決めたことは最後までやり遂げようと考え、指導者や家族に迷惑をかけながら菊章への道を進めました。今は感謝の心でいっぱいです。これからは私のできる恩返しをしようと思っています。

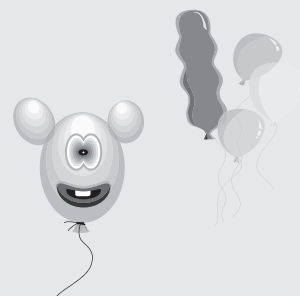
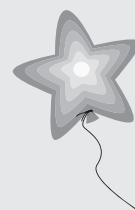
ボーイ隊の中でのコミュニケーションや技能を身につけるには時間がかかりました。でも私は先輩たちをみて学びました。まずは自分がやってみること、そこからが始まりでした。今、私が「ちかいとおきて」の実践していることは「いつも他の人々をたすけます」「スカウトは快活である」「スカウトは感謝の心をもつ」を大切にしています。活動中結びに困っている後輩がいたら、してあげるのではなく教えて一緒にいること。日々の生活の中でもバスの中では席を譲ったり、いつも笑顔でいることを心がけたり、落ち込んでいる友があれば話を聞いたり、頼まれたことは笑顔で対応し、誠意をつくし、食事の時は感謝していただき、粗末なことは決してしないように努め、私のために送迎をする両親には車から降りる時はお礼の言葉を忘れないようにして過してきました。更に他の「ちかいとおきて」も忘れないように心がけました。このように具体例をあげると、当たり前のごことがたくさんあります。しかしその当たり前のごことが大事なことなのだと思いました。

こうして学べたのもボーイスカウト活動を続けてきたからだと思いました。ボーイスカウトは、たくさんのごことを学び、自分を成長させる大切な場所であったと思います。今後、試練が多いと思いますが部活との両立の狭間で諦めないで菊章に到達できたことをしっかりと心に刻みががんばります。これまで指導してくださった指導者の方々、支えてくれた家族に感謝し、私はもっともっと成長していきます。そしてベンチャー隊へ上進して、色々なことに挑戦していきます。



第51回 市民体育祭・ちびっこわいわい広場開催される

市民体育祭参加者200名、ちびっこわいわい広場264名が参加。まず北橋市長のご挨拶をいただき、12名のスカウトが式典の奉仕に取り組みました。また、ちびっこわいわい広場では北九州西地区は勇者の鐘を鳴らせ・三本の矢・炎の河を担当しました。天候にも恵まれ、見学者も含めて金比羅池周辺では楽しいひと時を過ごしました。最後はじゃんけんゲームで盛り上がり解散しました。



日本ジャンボリー

北九州第1団 ポーイ隊 大森 孔知

僕は、夏休み中に山口県であった第16回日本ジャンボリーに参加しました。ジャンボリーには他の国のスカウトや他の県から来たスカウトが沢山いました。僕は、福岡2隊のオオカミ班の班員として、8日間福岡2隊のみんなと一緒に過ごしました。ジャンボリー中、沢山のプログラムを楽しくこなしました。僕にとっては、とてもじゅう実したキャンプになったと思います。閉会式の時には、「夏色」という歌手が来られていろんな歌を歌ってくれました。最後には、大会ソングを会場の全員と歌って、花火を見て盛り上がりました。僕はこのジャンボリーに参加し、ボーイスカウトの楽しさを味わうことができました。これからのボーイスカウト活動も楽しく過ごしていきたいと思っています。

たのしかったわいわいひろば

遠賀第2団 ビーバー隊 ふじもと だいき

バスにのって たのしかったです。でんしゃにのって たのしかったです。おまつりにいったので たのしかったです。ゲームをしたので たのしかったです。

「上進式」

北九州第3団 ポーイ隊 安部 玲哉

9月8日に上進式が行われました。今までの活動で一番お世話になった先輩スカウト達がベンチャー隊に上進し、僕は班長になりました。過去に行った、団・隊キャンプ、また4KNC・16NJで学んだ事を生かし、僕を含め、6人班で頑張ります。また、今年度の4月には技能競技大会があります。今回は団として手旗信号で良い結果を残すことができたので、新しい班でも前回に負けない良い結果を残そうと思います。

これからは班長として、班員を助け、他の班に負けない、良い班を作ります。そして残り一年間で菊スカウトになれるように、一生懸命頑張ります。

やはたひがしくのおまつり

北九州第45団 カブ隊 是永 心

やはたひがしくのおまつりに行きました。たくさんの方がきていました。テントもたくさんありました。はじめにボーイスカウトの友だちと、ゴミひろいをしました。たばこのすいがらがたくさんおちていました。小さいゴミもおちていました。つぎにテントの中でゲームをしました。ぼくはルールを教えてあげたりしました。ほかのテントではジュースをうっていたり、わたあめもうっていました。ぼくは3-3つりをしました。パトカーやきゅうきゅう車にものりました。じしん体けん車にボーイスカウトの友だちたちとのりました。ガタガタとゆれたのでびっくりしました。とてもたのしい一日でした。

上進式、育成会総会開催

北九州第45団 松田麻左武

9月15日高見さくら公園で上進式を行いました。9月1日に予定していましたが、雨で延期したものです。カブ隊に2名ボーイ隊に1名の上進者は各隊長から激励の言葉、記念品を受けた後、大きな試練である約10mのロープ渡りに挑戦しました。この難関をスカウトは勇気と全力を出して無事に渡り終え、スカウトの胸上げで歓迎してもらいました。新しい制服に着替え、「ちかい・やくそく」の式で上進式を終えました10月2日に高見市民センターで育成会総会を開催し、団および各隊の24年度活動と会計を報告し承認されました。また、新年度の指導者体制、活動計画、予算も承認されました。団の方針であるスカウト増員に全員で取り組むことを確認するとともにベンチャー保護者の方からスカウト活動を続けることが大切という経験に基づく話をいただきました。

上進式

北九州第1団 副団委員長 井上 由美

9月8日、玄海青年の家で、上進式が行われました。各隊の上進スカウト達は、緊張した面持ちで、式典に臨んでいました。少し大きめの制服に袖を通してスカウトもいて、その姿は、とても初々しく見えました。この日は、団の表彰も行われました。ビーバー隊から9年間皆勤の原田スカウトを始め、ビーバー隊1名、ポーイ隊4名、カブ隊において、13名ものスカウトが1年間皆勤。とても驚きました。

毎回工夫を凝らした集会や、保護者による協力、そして指導者による声かけが、この結果を導いてくれたのだと思います。春には日頃の成果が発揮出来る技能競技大会が開催されます。保護者の方にも見て頂ける貴重な機会です。上進したスカウトを含め各隊が結束し、スカウトや指導者の努力が個々の技能となり、成長した姿を大会で見られることを、とても楽しみにしています。

団だより

北九州第3団 稲員 恭比路

9月8日にひびきヶ丘小学校体育館で上進式を行いました。今回、カブ隊終了者4名・ボーイ隊終了者5名となりました。上進・入隊はカブ隊1名・ボーイ隊4名・ベンチャー隊5名です。総勢23名でのスタートとなります。上進式では育成会会長の加来会長も出席されてご挨拶を頂きました。隊を終了する者、隊に入隊する者、寂しい気持ち嬉しい気持ちが入り混じり何とも言えない感情が溢れてきます。カブ隊は6名でのスタート。今年は「心身ともに鍛錬し強くたくましくなろう」を目標に掲げ1年間活動していきます。ボーイ隊は「班制度の確立・スカウトとしての自覚を持つ」を目標に掲げ1年間活動していきます。人数的にまだまだ少ないですが指導者・保護者が一丸となって北九州第3団を盛り上げて行きたいと思っています。

まつり八幡東参加

北九州第14団 ボーイ隊長 塩川 浩史



9月8日(日)、北九州市制50周年を記念した、まつり八幡東に地域の団体として、北九州第3団、第45団とともに、子どもたち向けのゲームのブースと、会場の清掃奉仕で参加しました。当日は、八幡東区にこんな人がいたのか? というほど人出が多く、私たちのブースも「ナイスキャッチ」や「カーリング」、割りばし鉄砲や紙で作る竹トンボの工作に子どもたちがたくさん集まってくれました。



また、スカウトたちは交代で会場のゴミ拾いを行い、会場美化のお役に立つことができました。晴天が清々しい1日でした。

夜宮まつり

北九州第46団 カブ隊隊長 井上 雄仁



北九州第46団は、夜宮青少年センターの祭りである夜宮まつりに、団として奉仕しました。ボーイ隊は恒例の「おばけやしき」。順番待ちができるほどの人気で、小学生の黄色い声が飛び交っていました。カブ隊は「ゴム銃選手権」でゴム銃づくりを指南。的を狙うときは、むしろご両親の方が夢中に。団委員は炊き出しとバザーです。それぞれの立場から、夜宮まつりを盛り上げるため、一生懸命活動しました。

ボーイ隊のおばけやしき

北九州第46団 カブ隊 佐藤 凧紗

ゴム銃選手権を担当した後、ボーイ隊のおばけやしきに行きました。最初は怖かったけど、おばけになっている人がボーイ隊のスカウトだと分かったので、平気でした。2回目入ったとき、井戸のところでおどろかされるのが分かったので、逆に声をかけたら、「二回も来るな!」と言われました。面白かったので、何回も入りました。最後は、呼びかけても返事をしてくれず、井戸からも出てきてくれませんでした。とても怖がっていた人がいたけど、私は面白かったです。

夜宮まつりの奉仕

北九州第46団 カブ隊 井上 明香

私たちカブ隊は、夜宮まつりで、ゴム銃選手権のコーナーを担当しました。コーナーでは、参加者にゴム銃を作ってもらい、その銃で的を撃ってもらいました。私は倒れた的を起こす係で、行ったり来たりで忙しかったです。でも、多くの人が来てくれて、楽しんでもらえたので良かったです。

がんばった三りん車レース

北九州第37団 カブ隊 岡崎 かおる

10月14日体育の日に、おんがそう合うん動公園で三りん車四時間たいきゅうレースがありました。

全部で11チームが出場しました。チームみんなでこうたいで1周ごとにわゴムを1本とってペットボトルに入れます。わゴムの数が一番多いチームがゆうしょうで今年のコースは、カーブが多かったので去年の方が走りやすかったです。三りん車は、マスターとお父さんが知恵を出して走りやすukaiどうしてくれました。ぼくはアンカーになってさいごのわゴムをとりたかった、とれませんでした。



けっかは子どもの中で4位でした。来年は3位を目指したいです。

地区のうごき

活動報告

- 10/3 わいわい広場実行委員会 19:00 夜宮青少年センター
 10/4 CS 部門指導者会議 19:00 夜宮青少年センター
 10/4 調整会議 19:00 長尾事務所
 10/6 帆柱キャンプ場北九州っ子集まれ
 9:00~ 帆柱キャンプ場
 10/9 地区内コミ会議 19:00 夜宮青少年センター
 10/10 かっこう章祝賀会 19:00 大谷会館
 10/12 市民体育祭式典・わいわい広場
 総合体育館・金毘羅池周辺
 10/12~14 第58回班長訓練会本訓練 玄海青年の家
 10/16 スカウトの日報告県連メ切
 10/20 DLDC 交流会 9:30~12:00 夜宮青少年センター
 11/1 調整会議 19:00~ 長尾事務所
 11/3 まつり起業祭募金活動・清掃奉仕
 14:00 中央2丁目憩いの家
 11/10 地区委員会 18:00 ひまわり公民館
 11/10 第18回タカミヤ・マリバー環境保護シンポジウム
 11/23~24 指導者一泊研修会 14:00~翌15:30 玄海青年の家
 11/24 団委員長研究集会 9:00~12:00 玄海青年の家
 12/6 調整会議 19:00~ 長尾事務所
 12/6 育成会長懇談会 18:30 大谷会館
 12/8 地区委員会 19:00~
 12/15 団委員長会同 18:00~
 12/28~1/6 事務局休み

活動予定

- 1/10 調整会議
 1/12 成人祭奉仕 メディアドーム
 1/12 地区初集会
 1/10~13 日韓スカウトフォーラム
 1/18 県初会議
 1/19 地区委員会
 2/1 調整会議
 2/9 地区委員会
 2/13~15 加盟登録審査面接
 2/23 団委員長会同
 4/6 技能競技大会
 8/6~10 第9回九州沖縄ブロック野営大会
 熊本県阿蘇いこいの村オートキャンプ場

☆ 進歩おめでとう ☆

【ビーバー隊】小枝章

中西 梨乃 (北九州第1団)

【カブ隊】クリア章後のチャレンジ数 5.10.15.20.25.30.35.40
 次回に報告します。

☆ 進級おめでとう ☆

【ボーイ隊】この欄は次回に報告します。

初級・・・

2級・・・

1級・・・

菊章・・・

【ベンチャー隊】

ベンチャー章

隼章

富士章

☆ 友情バッジ取得者 ☆

【銅賞】【銀賞】【金賞】該当者なし

☆ 新入団スカウトの紹介 ☆

石井 理子 カブ隊 (北九州第3団)

浦塚 由亜・出田 琥太郎

ビーバー隊 (北九州第4団)

福屋 蓮 ビーバー隊 (北九州第14団)

濱崎 夢生 カブ隊 (北九州第14団)

津留崎 里加・木村 優加 (北九州第51団)

＝ 編集後記 ＝



みちびきの編集に寄せる原稿のご協力に感謝しています。只、メ切をお守り頂きたくお願い申し上げます。今回は新年号です。楽しみに原稿をお待ちしています。

班長訓練会

北九州第14団 ボーイ隊 塩川 悠歌

10月18日~20日までの二泊三日の班長訓練会のキャンプでした。私は自分の用事で、二日目から参加でした。私は、いつも長期キャンプだとイライラして空気が悪くなってしまうけど、今回のキャンプは、とても楽しくできました。本当は、行きたくなかったけど、私に敬語を使う人がいたり、面白い班長がいたりちょっと張りあったりしたり、いろんな話をして盛り上がりすぎた次長などがいたりして個性豊かな仲間がいて、とても楽しかったです。最終日また自分の用事で解散よりちょっと早く自分は帰る予定でしたが、いつものキャンプだったら、やったーやっと帰れる、だけど、今回のキャンプでは、初めて帰りたくないって思いました。後で聞くと、自分の班は優秀班で、しかも自分の班の班長が最優秀班長だったのでとても嬉しかったです。自分の班員や後輩にこんな事をおもってもらえるような班長になりたいです。

自転車ハイクに行って

北九州37団 ボーイ隊副長 伊東 尚朗

三指、日々のスカウト活動にお疲れ様です。さて、我が37団ボーイ隊は、もともと予定していた、釣り大会に参加申し込みが間に合わず、急遽、指導者会議、班長会議を展開して、スカウトのニーズを含めた、自転車に乗って、釣りに行きたいと言う事で、自転車で、若松区の脇田海釣り公園に行きました。現地には、朝8時半に着き、指導者に預けていた、道具を担ぎ、いざ棧橋へ行くと日曜日と言う事もあり、家族連れなどで、人が溢れ返ってる中、場所取りをして、仕掛けの準備を始め、サビキ釣りをしました。釣りが初めてのスカウトもいたが、全員が、アジ子の入れ食いだっただけで、始めて2時間程度で、100匹以上が、クーラーの中に入っていて、スカウトもとても満足そうだった。中には、スカウト同志、仕掛けを絡めて、指導者は、仕掛けを解く作業で精一杯でした。また、参加スカウト全員が、釣りのターゲットバッジを取得できた事に嬉しく思いました。今後も、スカウトのニーズをたくさん挙げて貰い、スカウト一人一人が、進級意識を高めて行って欲しいと思いました。

今後の、彼らに期待します。

弥栄